

氏 名	坂根 可奈子
学 位 の 種 類	博士（看護学）
学 位 記 番 号	第 1 号
学位授与年月日	令和 3 年 3 月 1 5 日
審 査 委 員	主査 教授 橋本 龍樹
	副査 教授 津本 優子
	副査 教授 福間 美紀

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、在宅領域および急性期病院の看護師が、高齢者の自律的な服薬自己管理状況を査定するための服薬アドヒアランス評価ツールを開発することを目的として実施した。研究は、①高齢者の服薬アドヒアランス評価ツール開発における理論的枠組みの構築、②プレテストおよび専門家との意見交換による評価ツールの構成の検討、③信頼性、妥当性検証のための本調査、3段階のプロセスを経て実施した。インタビュー調査等から91コード6カテゴリの服薬アドヒアランス評価ツール原案を作成し、評価ツール開発における理論的枠組みを構築した。その後、プレテストと専門家との意見交換を実施して内容妥当性を高め、評価ツール修正版を作成した。さらに、全国の急性期病院、訪問看護ステーションの看護師を対象とした全国調査を実施し、747部の回答を得た。項目分析の結果、74項目から40項目を選定し、探索的因子分析から、40項目6下位因子の「高齢者の服薬アドヒアランス評価ツール」を作成した。評価ツールは信頼性、基準関連妥当性、構成概念妥当性を確保していることが示された。